



学校だより 7月

令和8年6月30日 発行
第 4 2 4 号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



だれもが安心して生活できる学校・社会に

校長 白井 亮司

6日(土)に実施した運動会では、多くの保護者の皆様や地域の方々にご参観いただくとともに、子どもたちの競技や演技に温かな声援や大きな拍手をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちは、練習の成果をしっかりと発揮し、今までで一番の姿を見せていました。

また、放送設備の不具合により、5・6年生がソーラン節の演技をよい環境で行うことができなかったことにつきまして、改めてお詫び申し上げます。そのような中でもあきらめずに演技を続けた5・6年生の素晴らしい頑張り、そして、その頑張りを見守る児童席の子どもたちや参観されている皆様が掛け声や手拍子で後押ししてくださったことに、心から感動いたしました。その後に実施した六つ西音頭にも、多くの保護者の方や地域の方がご参加くださり、子どもたちと一緒に踊っていただきました。

子どもたち一人ひとりが「かがやく姿」「ひびきあう姿」を実現するとともに、六つ川西小に関わる方々の心が一つになった、本当に素晴らしい運動会となりました。

23日(火)には、よこはま国際平和スピーチコンテスト南区審査会が南公会堂で行われ、本校からも6年生の代表児童が参加しました。「一人ひとりがかがやく世界へ」というタイトルの本校代表児童のスピーチは、ジェンダー平等の実現を中心に、互いの個性を認め合い、大切にしようとともに、差別のない学校や社会をつくっていききたいという強い思いを、聞く人の心にやさしく語りかける素晴らしいものでした。

各学校の代表児童のスピーチを聞くと、戦争、食糧問題、森林保護、気候変動など、具体的で目に見えるテーマに加え、ジェンダー平等の実現やいじめ、福祉や海外からの来日をきっかけに感じたことなど、個人の内面や人と人との関わりをテーマとしたものが多かったと感じました。そして、それらに共通していたのは「だれもが自分らしく生きることができる、そしてお互いの個性を大切にしようことのできる社会をつくっていききたい」という強い思いでした。

スピーチコンテストからの帰り道、応援で参加した児童が「他の学校のスピーチで語られていた取組を自分のクラスでもやってみたい。」と話してくれました。自分の考えを広げ、行動しようとする姿を、とても頼もしく思いました。

社会は、様々な面で異なるところがある人々が集まり成り立っています。それは学校も同じです。だれもが安心して生活できる学校・社会を実現していくために、これからも視野を広げ、行動できるよう、取り組んでまいります。

ご家庭におかれましても「だれもが安心して生活できる学校・社会」について、話題にしていいただければと思います。